

令和4年度（2022年度）宗谷管内高等学校教育研究会家庭部会研究協議会

11月25日（金）、稚内大谷高等学校において、令和4年度宗谷管内高等学校教育研究会家庭部会研究協議会が開催されました。管内4校の家庭科教諭が参加し、教科の指導上の課題に対する理解を深め、生徒及び地域の実態に即した指導の充実を図るために、研究発表及び研究協議を行いました。研究協議会の時程、研究発表を行った先生及び研究協議の概要を紹介します。

当日の時程

日時：令和4年11月25日（金）
会場：稚内大谷高等学校（当番校）
時程：9：25～開会式
9：50～研究発表
10：30～研究協議・総評
12：00～閉会式

研究発表

- 発表者：北海道浜頓別高等学校
奈良崎 愛 教諭
- 発表内容：地域と連携した実践的・体験的な学習活動について

研究協議内容

- 浜頓別高校における具体的な取組について
生徒に地域と繋がっていることを実感させ、地域の一員として、共に支え合って生活することの大切さを伝える取組例
 - ・チーズセミナー：チーズ作りの工程を学び、チーズをカットして、香りや固さについての学習
 - ・シュガーセミナー：クッキーやシフォンケーキの食べ比べにより砂糖と人工甘味料の違いの学習
 - ・高齢者疑似体験：疑似体験セットや車椅子等を用いて、高齢者の疑似体験や介助の方法に関する学習
- 地域と連携した体験的な授業の実践について
各参加者から、保育介護実習や地元の食材（昆布等の海藻類やジャガイモ）を活用した実践などを紹介し、全体で共有しました。

担当者から

学校と地域社会との連携・協働を重視する「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、今後も、生徒及び地域のために、地域人材を活かした授業を実践してください。
（高等学校教育指導班 山崎浩和）



研究協議の様子